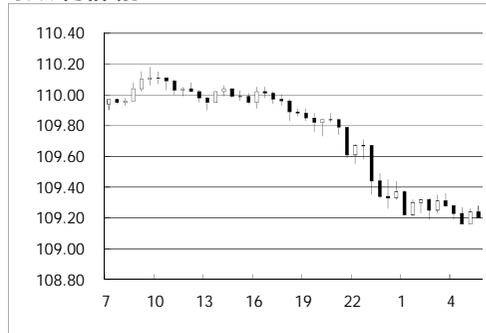


みずほCustomer Desk Report 2017/08/14号(As of 2017/08/10)

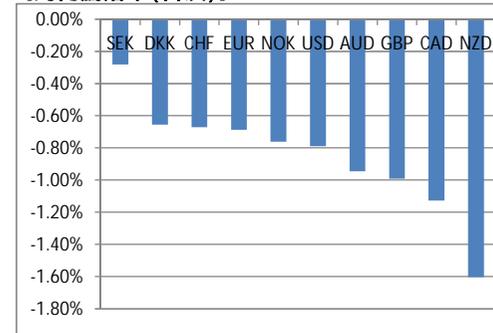
【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	110.04	1.1763	129.46	0.9637	1.3012	0.7893
SYD-NY High	110.18	1.1786	129.53	0.9675	1.3015	0.7911
SYD-NY Low	109.15	1.1705	128.23	0.9620	1.2952	0.7867
NY 5:00 PM	109.21	1.1772	128.58	0.9627	1.2978	0.7876
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	8.99/9.465		25RR	1.423 Yen Call Over		
NY DOW	21,844.01	▲ 204.69	債券市場	日本2年債	-0.1070	0.6bp
NASDAQ	6,216.87	▲ 135.46		日本10年債	0.0630	0.5bp
S&P	2,438.21	▲ 35.81		米国2年債	1.3246	▲ 1.4bp
日経平均	19,729.74	▲ 8.97		米国5年債	1.7711	▲ 3.3bp
TOPIX	1,617.25	▲ 0.65		米国10年債	2.1975	▲ 5.0bp
シカゴ日経先物	19,365.00	▲ 400.00		独10年債	0.4150	▲ 1.3bp
ロンドンFT	7,389.94	▲ 108.12		英10年債	1.0820	▲ 2.7bp
DAX	12,014.30	▲ 139.70		豪10年債	2.6570	1.5bp
ハンセン指数	27,444.00	▲ 313.09	為替市況	USD/CNH	6.6667	▲ 0.0254
上海総合	3,261.75	▲ 13.82		ドルインデックス	93.40	▲ 0.15
USDJPY 3M Vo	9.47	0.29%	商品市況	CRB指数	178.914	▲ 2.64
USDJPY 6M Vo	9.59	0.29%		NY金	1,290.100	10.80
EURJPY 3M Vo	9.92	0.42%		WTI	48.590	▲ 0.97
EURJPY 6M Vo	10.10	0.35%		Dubai Spot	51.57	0.67

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【ユーロ円相場】



【ユーロドル相場】



【債券相場】



【豪ドル相場】



東京	朝方に北朝鮮が中距離弾道ミサイル4発を Guam に発射する計画を検討していることが報じられると、リスク回避的な動きが強まりドル円は109.90まで下落。しかし、109円台では押し目買い意欲もあり110.04レベルで東京時間オープン。日経平均株価が前日比プラス圏で寄り付いたことに加えて、この日は五・十日に当たることから仲値にかけて実需勢のドル買い意欲も相応にあった模様であり、110.18まで上昇。しかし、北朝鮮リスクも意識される中、この水準から一段と上値を迫る展開とはならずその後は110.00を挟んでのみ合い推移となり、結局109.99レベルで海外へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン時間のドル円は110円ちょうど近辺から109円台後半まで下落する展開となった。朝方は109.99レベルでオープン。アジア株の軟調推移を引き継ぎ、欧州株も寄り付きから前日比マイナスで取引開始となり、その後も下落。これを背景に為替市場では全般的に円買いとなり、ユーロ円、ドル円共に下落。ロンドン時間安値となる109.74まで下落した後、109.84レベルでNYへ渡った。ユーロドルは1.29台後半から1.30台前半まで上昇。朝方は1.2982レベルでオープンし、序盤にロンドン時間安値となる1.2952まで下落。その後はドル円の下落を主因としてドルが弱まったことを背景にユーロドルはロンドン高値1.3008まで上昇し、1.2996レベルでNYへ渡った。なお、序盤に発表された英経済指標の結果は強弱まちまちとなり、為替市場への影響は限定的となった。(ロンドン・トルク 00531 444 179 日比野)
ニューヨーク	北朝鮮による弾道ミサイルの具体的な計画が示されたことから円買いが強まり、ドル円は海外市場で109.74まで下落し、109.84レベルでNYオープン。翌日から日本がお盆休暇で市場の流動性が低下することが意識される中、朝方は米7月PPI(前月比)が市場予想を下回るマイナス成長となり、ドル売りが強まる。その後もトランプ派で知られるダドリー-NY連銀総裁が、「インフレが2%まで上昇するには時間が掛かる」との発言をし、景気に対する見通しもトランプ派の見解を示したことからドル売りが更に強まり、サポートと意識されていた109.50を抜け109.26まで下落する。午後は流動性が低下する中、米金利低下を受けたドル売りが継続し109.15まで下落し、109.21レベルでクロスした。一方、ユーロドルは1.1726レベルでNYオープン。朝方は米7月PPI結果を受けたドル売りが強まり、1.1749まで戻す。その後やや小緩む局面もあったものの、ダドリー-NY連銀総裁のトランプ派な発言を受けドル売りが継続したことから、1.1786まで上昇。終盤に掛けては狭いレンジでの推移が続き、1.1772レベルでクロスした。(NY井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。